

# 磐城時報

本報社 磐城郡平町新屋敷四丁目  
電話 八四一  
印刷部 磐城郡平町新屋敷四丁目  
電話 八四一  
支店 磐城郡平町新屋敷四丁目  
電話 八四一  
支店 磐城郡平町新屋敷四丁目  
電話 八四一

## 沿岸に商港を持たぬは

### 縣民の恥辱ではないか

#### 小名濱商港實現を望む 元代議士白井博之氏談

小名濱商港問題は今期縣會の中議に供給するから販路の擴張を  
心問題として論議されてゐるが、進んで縣下の生産力を増大  
該問題に關して元代議士白井博之氏は、縣會で小名濱商港  
之氏は語る「縣會で小名濱商港の實現を望むべきを信じて疑はな  
が重大問題として論議されてゐるのである。従つて縣民は共通  
るやうだが此事は私が大正十一年の利益の問題として共にその  
に代議士をしてゐた時代、始め實現を促進すべきものである。地  
て衆議院に提出したためである。故にこれが實現を見れば私の  
衷心から熱望してやまない問題である。石城郡民としてこれを  
要望するのみではない縣の交通上から見て當然爲さるべきか  
らざるものである。沿海四十餘里一の商港を有せざりし如きは  
縣民の恥辱でないか、落越線の開通により日本海と太平洋とが  
結びつけられたのであるか、これに對應し海路にも小名濱商港  
築造によりても海運を利用するの必要あるは、いふまでもない  
い、而して汽車貨と船貨とを比較する上に於て物資の輸送上海  
路を利用するが低廉にして、それが爲に縣民の生活にも好影響  
を與へ肥料といはすその他の物資が低廉に供給されるやうにな  
るのであるから縣民の消費に影響し且縣下の生産物を市物に低

## 平町を一巡した上

### 商業校で講演

#### あす榊田彦之進氏の歓迎會

青森、下の關間長途騎乗に成功後五時から住吉屋本店に於て  
した榊田彦之進氏は九日午前九時上野發列車で歸郷する。平  
町青年團、在郷軍人分會並に平町馬俱樂部聯合會主催で歓迎會  
を開く事既報の如くであるが、當日主催者並に町民有志は午後  
一時四十分平町に榊田氏を出迎ひ、榊田氏は愛馬吉磐號に跨  
り出迎人に護られて白銀町、大工町を経て五丁目に出で本町通  
りから警察署前を過ぎ平商業學校に至り長途騎乗の経過報告  
の講演をなす筈である。尙ほ午

## 休業銀行

### 小口預金の支拂開始

去る三月以來休業中の東京市中井、村井、中津の三銀行は漸く整理案が出来たので八日午前九時から小口預金の支拂を開始した。右各行では八日から十四日迄毎日午前八時から午後四時まで支拂ひをなす筈である。

太平洋横斷飛行機新調  
太平洋横斷の四飛行士は目下霞ヶ浦飛行場練習中であるが本年中に練習を終え明年より太平洋横斷飛行を行ふ筈で之に使用する飛行機は海軍用陸上攻撃機で一臺十二萬圓、二臺を新調する筈である。

## 三人心中

山形縣奥羽本線附近踏切に七日午後十一時四十分男二人、女一人の轢死体あるを發見した。男は山形市山形町長島庄太郎(二四)同西田町松本清太郎(二八)女は同縣北村山郡生野町山形市遊廓萬金樓抱娼妓齋藤ツヤ(十八)と判明した。三人心中の理由は不明であるが、八幡神社境内で猫ラズをのんだ上列車にぶつちたものである。

## 下船尾農業總會

下船尾農業實行組合總會は八日午後一時から踏切過境開いた農産物品評會の褒賞授與を行つた。榊田彦之進氏の講演があつた。

## 漁港完成陳情を

四倉町では通常縣會開會を機として竣工するやう陳情方と町民から小川に迫る縣道を協議したが石城郡各領のうち踏切及び新道開鑿工事につき小名濱、江名は既に漁港完成し縣補助の申請陳情をなしたが同町は四倉のみが未だ僅か防波堤の漁港は道路その他問題に先立つて解決しなければならぬ。は全力をあげて之が速進陳情をなす事になつた。

## 賭博犯人

河沼郡柳津村大字藤字下藤生渡邊四郎(四八)は十一月中旬平町久保町飲食店太田屋方下賭博をなし平署刑事に踏み込まれた。逃走行跡不明であつたが七日午後十一時頃密かに自宅に戻つた。處を平署刑事に押へられ平署を以て結果余罪として去る。

## 余罪發覺

河沼郡柳津村大字藤字下藤生渡邊四郎(四八)は十一月中旬平町久保町飲食店太田屋方下賭博をなし平署刑事に踏み込まれた。逃走行跡不明であつたが七日午後十一時頃密かに自宅に戻つた。處を平署刑事に押へられ平署を以て結果余罪として去る。

## 今年

### 安い餅を搗ける

昨年は諒闇にあつた正月各家村農産物品評會は九日午前八時庭の食膳を賑はすべき等の餅まか、同村小學校に開く筈で當日何れ控え目に搗かれたので年入賞者一等白菜馬馬上昭、二等新の暮に於ける餅米の相場など高妻忠治外四名、三等十四名、四からうと安らうと余り大した等四十三名に夫々賞品を授與する影響もないと言はれてゐたが愈々二旬余にして迎ふべき正月は諒闇もあけ初めて明とみの昭和春を待つ事と平町地方でも昨年控へられた餅も本年は何處に家庭にも澤山搗かれること、石城郡南某地生れ安田春吉(一)の機に見られてゐるが昨今糯米の相場はさうであらうかと調べる。御多聞にもれや不景氣、長島庄太郎(二四)同西田町松本清太郎(二八)女は同縣北村山郡生野町山形市遊廓萬金樓抱娼妓齋藤ツヤ(十八)と判明した。三人心中の理由は不明であるが、八幡神社境内で猫ラズをのんだ上列車にぶつちたものである。

## 店の金を

平町本町通り屈指の某商店雇人の家庭にも澤山搗かれること、石城郡南某地生れ安田春吉(一)の機に見られてゐるが昨今糯米の相場はさうであらうかと調べる。御多聞にもれや不景氣、長島庄太郎(二四)同西田町松本清太郎(二八)女は同縣北村山郡生野町山形市遊廓萬金樓抱娼妓齋藤ツヤ(十八)と判明した。三人心中の理由は不明であるが、八幡神社境内で猫ラズをのんだ上列車にぶつちたものである。

## 猪狩署長の訓示

本日茲に石城林野保護組合組合長と所懐の一端を述べることを得たるは洵に欣幸とする所なり。林野保護組合の使命たるや愛林思想の普及宣傳並に林野災害の防止にあるは言を俟たざる所にして要は林野をして方正的發育の現象を持續せしむるにあり。今尙署管下に於ける林野の状況を見ると國有林を除く外、民有林の多くは逐年過伐の跡を辿り林力の疲弊は延て土地の崩壊を促し森林稀に存するも漸次荒廢の現況にあるは甚だ遺憾とする所なり。森林と吾人生活の關係は當に

## 高久病院

内科、外科、耳鼻科、皮膚科、花柳病科  
院長 高久 忠  
平町電話 一三五

## 高久病院

経済的利用に止まらず氣候に衛生に、思想に、更に國土保安と重大なる關係あり自來國者は林政の急務に付すべからざることを告げ訓示せられたるに不拘森理事、るや百年の長計にして忽然た効果を見る能はざる爲に其教訓を遵奉せざる、誠あるに悲心に堪へざる所なり。晩近社内の進歩に伴ひ交通の便と諸工業の發達は本林の需用著しく擴張し山林は盛に伐採せられ鬱蒼た、森林は其跡を絶ち木材の欠乏、木材の輸入となり而かも市價騰貴し吾人の生活は現況に脅威せられつゝあり又一面濫伐の結果早水害相次、起り國土の慘害を接し國策に公安上に及ぼす影響亦少ならず。(つづく)

二十八月八日

日活超々特作映畫 故尾上松之助 秘畫 遺寶

# 忠臣蔵

改訂せられたる名畫の中心に増補せる大河内傳次郎の鑄屋宗伴、河部五郎の小林平八郎、谷崎十郎の磯貝十郎左衛門と其他幹部が面目一新せる大努力と名監督池田富保氏の苦心により完成せる本篇こそ光輝ある我日活のみが作り得る巨篇名畫である。

◆補増訂改◆ 映上部全卷廿全

すせげ上値金料日 四電話 館平 四六六

和洋銅鐵 金物問屋

磐城セメント會社特約店

## 釜屋商店

磐城平 電話一九三九番

確實敏捷は(久)の生命なり!!!

セメント 壁用材料

コールタール ペンキ塗料 板ガラス

磐城セメント株式會社

代理店 西村屋藥舖

平町二丁目 電話三番

関内藥局

藥劑師 関内栄助

平四 電話四〇番

印刷物は 加納活版所

藤沼醫院

内科、外科、淋病、梅毒科

平町紺屋町 電話五〇七番

原齒科醫院

平町土橋通り 電話三一三番

松村病院

皮膚病 婦人病 淋病 腸十二指腸病

平町 電話七〇一

大評判

皮美膏 (定價十錢 廿五錢) 御用意 トモモヨク

福島縣平町四丁目 小野屋藥店

鳥肉類の好季節!!!

ななべ 好季節!!!

御料理 電話四三三

平町 山野邊藥局

滋養、強壯劑として愈々好評

偉大なる藥酒 栗守酒

朝の一盃は精力の根源、晩の一盃は睡眠の助力

栗守酒特約店 大平屋藥店

代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目電六二四

徒弟入用 (徒弟契約に付ては年明きに際し有利に御相談申上候)

金印半天專門 優秀品の証明

草野染工場

磐城平町 電話三四八番

男女首飾り

化粧品器具

理髮用 香水、マニキュア、ハカリ

前署察警平 店具器髮理園香芳

靴 驚異的 靴の投げ賣

大塚支店開業以來の御買ひ時!!!

全部自家製品ニテ一足毎ニ弊店マーク貼付

電話七〇二番 大塚支店製靴部

牛肉大投げ賣

並肉 百匁 金三十三錢

上肉 百匁 金五十五錢

口肉 百匁 金七十五錢

ヒレ肉 百匁 金九十錢

豚並肉 百匁 金三十錢

平町停車場前(平劇場入口) 深谷牛肉店 電話五二四番

男女首飾り

化粧品器具

理髮用 香水、マニキュア、ハカリ

前署察警平 店具器髮理園香芳